

整理番号
269

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	市民活動支援事業			担当課	協働まちづくり課
業務名	-			担当係	協働推進係
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち		計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	3	市民参画・協働		事業区分	一部委託
主な取組	1	市民活動支援センターの機能強化		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	一般	2	1	13	市民活動支援事業

目的と方針【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。		
事業概要【PLAN】	市民活動支援センターを中心に、市民活動団体の活動運営等を支援する。また、市民活動団体のスタートアップ費用の一部を補助することで、新たな市民活動団体の設立を支援します。		
対象【PLAN】	NPO法人・地域自治組織等の市民活動団体	意図【PLAN】	まちづくりの新たな担い手として市民活動団体等を支援し、市民と行政が良好なパートナーとして地域の公共的課題の解決を図る。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	行政主導だけでなく、市民自らが積極的に協働の取り組みに参加する体制となっている。		

事業費【D0】	年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,941	4,275	4,200	4,710	
	事業費合計	千円	3,941	4,275	4,200	4,710	

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
市内のNPO法人数	団体	実績値が目標値以上となること	目標値	28	28	29	29	30
			実績値	29	29			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	市民活動支援センターへは、NPO法人の手続きから地域自治組織の運営まで多様な相談が寄せられていることから、市民ニーズが高いものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	市民活動支援センターにおける事業には毎回多くの方が参加しており、市民団体等同士の交流の機会にもなっていることから、市民満足度・社会貢献度ともに高いものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	市民活動支援センターのHP、SNSの活用により、効率的に市民活動団体の支援や団体間の情報共有が可能な体制となっている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市民活動団体への補助事業により、新規設立の市民活動団体が抱える経済的負担の軽減に貢献している。市民活動支援センターは「協働のまちづくり」のため市民活動団体等に関する相談・支援・情報発信など市民活動の中核となり地域の活性化を図っていく。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
270

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	広報紙発行事業				担当課	秘書広報課
業務名	-				担当係	広報広聴係
基本目標	6	みんなで作る協働のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	3	市民参画・協働			事業区分	直営
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	3	広報広聴費	

目的と方針【PLAN】
市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。

事業概要【PLAN】
行政と市民をつなぐ架け橋、市民とのコミュニケーションメディアとして、毎月第4木曜日に広報紙を発行します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市からのお知らせや地域の情報などを、定期的にわかりやすく知ることができ、行政に対する信頼、理解や協力などを得ることができる。
-----------------	----	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
定期的な発行。必要な情報が広報紙に分かりやすく掲載されていると感じる市民の増加。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	2,254	2,059	2,184	2,500		
	一般財源	千円	11,365	9,383	9,740	12,837		
	事業費合計	千円	13,619	11,442	11,924	15,337		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
広報紙の配布する世帯数の割合	%	実績値が目標値以下となること	目標値	90.8	90.6	90.4	90.2	90.0
			実績値	90.3	89.2			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	デジタル媒体で情報を見ることができない市民（特に高齢者など）が一定数存在するため、紙媒体での情報発信は必要不可欠である。確実に市民の手元に届くツールとして重要性は高く、事務事業の優先度も高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	市民協働推進の観点から、伝えたい市の取り組みを特集として掲載した。市民が登場するコーナー（まちのキラリ、リレートーク）や祭りなどの地域活動を取り上げ、市民との一体感の醸成に努めた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	広告を積極的に入れることで、自主財源の確保に努めた。効率的に取材できる分野を洗い出し、リレートークの見直しを行った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	広報紙は保存性に優れ「読み手が情報を発見する」特性があるため、自治体広報の伝達手段として内容の充実を図った。また、伊達っ子に多く登場してもらうことで、若い親世代にも見てもらえるよう工夫した。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
271

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	ホームページ運用事業			担当課	秘書広報課
業務名	-			担当係	広報広聴係
基本目標	6	みんなで作る協働のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	3	市民参画・協働		事業区分	一部委託
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	2	1	3	広報広聴費

目的と方針【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。				
事業概要【PLAN】	デジタル社会に対応した即時性のある情報の発信を行うため、ホームページの運営管理、SNSでの情報発信を行います。				
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	HPで行政情報を入手し理解してもらい、生活を便利で豊かにしてもらう。		
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすいページの作り方を職員が習熟する ・見やすくなったホームページへのアクセス数が増加 				

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	2,500		
	一般財源	千円	2,174	2,174	2,174	12,837		
事業費合計		千円	2,174	2,174	2,174	15,337		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
月平均のホームページのアクセス数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	112,400	116,800	121,200	125,600	130,000
			実績値	95,658	101,273			
			達成率	85.1%	86.7%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	デジタル社会に対応するため、HPの充実とSNSでの情報発信は不可欠であり、市民がいつでも必要な情報を探せる状態を作る上でも、HPの充実が必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	特にSNSにおいてイベントやスポーツ、地域行事などの情報を積極的に発信することで、市民協働の媒体として認知してもらい、行政情報を受け取ってもらいやすい環境を作っている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	SNSは効率的に情報発信できている。各課でも積極的な情報発信を進める必要がある。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	ホームページに加えてSNSでの情報発信が増えている。今後もCMS操作研修などで、掲載ルールやポイントを職員に伝えていく必要がある。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
272

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	市長への手紙事業			担当課	秘書広報課
業務名	-			担当係	広報広聴係
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち		計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	3	市民参画・協働		事業区分	直営
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	2	1	3	広報広聴費

目的と方針【PLAN】
市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。

事業概要【PLAN】
広く市民の意見、要望等を聴くため、また、市民の要望を市政に反映させるため、市長への手紙受付、回答を行います。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民との協働による住みよいまちづくりを目指し、市民の声を市政に反映させる。
-----------------	----	-----------------	---------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市政への意見・要望等の内容・課題等を検討することで、行政運営や市民サービスの向上につなげる。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	2,500		
	一般財源	千円	167	149	126	12,837		
	事業費合計	千円	167	149	126	15,337		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
年間の市長への手紙の受付数	通	実績値が目標値以下となること	目標値	190	180	170	160	150
			実績値	192	179			
			達成率	99.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	市民が市政への意見や要望を伝える重要な制度であり、行政においても、市民の意見を直接知ることができる貴重な機会である。例年200件ほど要望や意見が届いていることから必要な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	市長への手紙で寄せられた意見に基づき業務の改善を図ったり、要望に基づき事業を組み立てたりする機会となる。市民が求める回答通りには進まない案件も多いが、市民サービス向上のために有効な手段である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	市長への手紙を広報紙綴じ込みにしていることで印刷製本費を抑えている。業務の迅速化のため、各部署で個別対応が可能な案件は個別対応で進めるなど、時間削減の工夫をしている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市民の意見や要望を聞ける貴重な機会である一方で、同じ人が同じ内容を繰り返し返す(ハードクレーム)手紙もみられ、対応に時間を要するケースが増えている。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
273

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	シティプロモーション推進事業			担当課	秘書広報課
業務名	-			担当係	広報広聴係
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	3	市民参画・協働		事業区分	一部委託
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	2	1	3	広報広聴費

目的と方針【PLAN】
市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。

事業概要【PLAN】
将来的に地域を支え、継続し発展させていくため、市民のシビックプライドの醸成、市内外に担い手や応援者を増やし、市の魅力を発信します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	地域づくりの担い手を増やし、地域の価値・魅力を発信する活動を通じて、地域の持続的な発展につなげる
-----------------	----	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】

- ・本市の魅力を理解し、共感してもらう人たちを増やす
- ・新たな地域資源の掘り起こしなどによるシビックプライドの醸成
- ・市の魅力やブランドメッセージの効果的な発信

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,405	1,621	1,603	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	2,500		
	一般財源	千円	5,813	4,635	3,214	12,837		
	事業費合計	千円	7,218	6,256	4,817	15,337		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
市の応援者の数（伊達なふるさと大使、伊達な宣伝部長、だてフォト部）	人	実績値が目標値以上となること	目標値	32	44	56	68	80
			実績値	46	56			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	人口が減少する中、地域を継続的に発展させるため、シビックプライドの醸成や担い手の育成は必要不可欠である。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	行政だけでは難しい地域情報などを発信してくれる担い手（宣伝部長やフォト部）の存在は大きい。また、同じ市民目線での発信は市民の目に留まりやすく、信頼度も高いといえる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	自発的に魅力発信をしてくれる担い手の活躍により、幅広い情報収集と魅力発信ができています。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	担い手どうしの交流を進めたことで、新たな宣伝部長の確保にもつながった。今後は、宣伝部長が出演する機会を増やし、知名度を増やす必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
274

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	情報公開・個人情報保護事務				担当課	総務課
業務名	-				担当係	文書法規係
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	3	市民参画・協働			事業区分	直営
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	2	文書管理費	

目的と方針【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。					
事業概要【PLAN】	情報公開制度及び個人情報保護制度の周知、情報公開・個人情報保護審査会を開催します。					
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> 市民が安心できる行政情報及び個人情報の適正な管理 行政情報及び個人情報の開示請求に対する適正な処分の実施 			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> 行政情報の適正な保存及び廃棄、個人情報の取扱いに関する安全管理措置 行政情報及び個人情報の開示請求に関する担当者向け研修会の開催、開示請求者に対する丁寧な説明 					

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	103	0	91	580		
	事業費合計	千円	103	0	91	580		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
審査請求件数	件	実績値が目標値以下となること	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	2	2			
			達成率	0.0%	0.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	法令等に基づく事務のため必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	情報公開制度及び個人情報保護制度は、市民が安心し、開かれた行政を推進していくために有効である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	電子決裁による情報のデジタル化を推進することにより、文書管理の効率化及び経費の節減を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	開示決定等の際には、不開示情報とする場合の明確な根拠を示した上で、適正な処分を実施していく必要がある。また、開示請求をする市民とは、コミュニケーションを取りながら丁寧に説明していくことも重要である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
275

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	総合計画推進事業				担当課	総合政策課
業務名	-				担当係	経営戦略係
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	3	市民参画・協働			事業区分	一部委託
主な取組	3	多様な分野における参画・協働の促進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	8	総合計画推進事業（自治体経営）	

目的と方針【PLAN】
市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。

事業概要【PLAN】
総合計画に掲げる施策に対する市民意識を分析するため、市民に対し定期的にアンケート調査を実施し、まちづくりに反映させます。

対象【PLAN】	①市民 ②総合計画	意図【PLAN】	①市民が伊達市を自分の街と感じ、今後も定住したいと思う。 ②総合計画に掲げる将来像の実現に向けたまちづくりが推進されている。
-----------------	--------------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
総合計画の進捗状況を適正に管理され、効果検証が行われている。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	9,125	1,364	1,277	3,000		
	事業費合計	千円	9,125	1,364	1,277	3,000		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
アンケート調査の設定で「今後も伊達市に住み続けたい」と回答した市民の割合	%	目標値が実績値以上となること	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
			実績値	80.9	79.8			
			達成率	95.2%	93.9%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	総合計画に掲げる施策等に対し、アンケート調査で市民の満足度を把握して事業に反映させることで市民サービスの質を向上させる必要があることから、市民ニーズ、社会的需要の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	各施策の達成状況を把握するため、市民アンケートを実施し、施策に反映させることで市民満足度に繋がる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・アンケートの共通設問を最小のものとし、印刷や分析にかかるコストの削減や回収率の向上に努めた。 ・令和5年度より書面回答の他にオンライン回答を導入したことで作業時間の削減や回収率の向上に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・第3次総合計画の開始に合わせ、各施策の市民満足度をアンケートの調査項目に取り入れることで、現在の行政運営の強弱を分析した。 ・現状はアンケート調査結果を行政運営に活かすきれていないため、次年度以降は活かすような取り組みが必要である。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
276

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	指定管理者制度の運用				担当課	公有財産管理課
業務名	-				担当係	マネジメント推進係
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	3	市民参画・協働			事業区分	直営
主な取組	3	多様な分野における参画・協働の促進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	6	公共施設配置適正化事業	

目的と方針【PLAN】
市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進める。

事業概要【PLAN】
施設の管理運営主体を民間事業者とすることで民間のノウハウを活用した施設運営が可能となる。公共施設における本制度の導入を進め、導入後は適切に管理されているか評価をし、市民サービスの向上につなげる。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	民間事業者の能力を活用し、市民サービスの向上を目指す。
-----------------	----	-----------------	-----------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
指定管理者制度の導入を希望する施設所管課に対し、導入に向けたフォローアップを継続的に行う。指定管理期間満了の公共施設の指定管理者募集手続きを行う。指定管理者制度の適切な運用のため、随時助言等を行う。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	0	0	0		
	事業費合計	千円	0	0	0	0		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
指定管理施設	施設	実績値が目標値以上となること	目標値	24	24	26	26	26
			実績値	24	24			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	公共施設の維持管理は原則自治体直営で行われるものであるが、導入によるサービスの拡大・充実、経費の節減が見込める場合は、必要な制度である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 社会体育施設、宿泊施設、公園、観光施設への指定管理制度導入により、自治体直営に比べ、より良いサービスの提供が行われており、有効性が認められる制度である。 さらなるサービスの拡大・充実と経費の削減のため、事業者による自主事業の展開を求める必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	[公共施設の効率的な運営につながった] 施設の設置目的の達成にむけて、自治体直営時より効率的な運営がなされている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今年度は、5施設の期間満了等に伴う募集手続き、指定管理者変更に伴う変更手続きを行った。引続き適切な制度運用を行っていきたい。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
277

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	包括連携協定管理業務			担当課	総合政策課
業務名	-			担当係	政策推進係
基本目標	6	みんなで作る協働のまち		計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	3	市民参画・協働		事業区分	その他
主な取組	3	多様な分野における参画・協働の促進		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	-	-	-	

目的と方針【PLAN】
市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。

事業概要【PLAN】
大学や民間企業等と市が多様な分野において連携した取組を進めるために締結する「包括連携協定」の事務手続の窓口となり、新たな事業者等との連携を行います。

対象【PLAN】	事業者等	意図【PLAN】	市が事業者等と多様な分野で包括的な協力関係を築き、双方の資源を有効的に活用した協働による取組を推進することで地域課題の解決を図る。
-----------------	------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
保活連携協定を締結し、①年度ごとの実績報告書の提出 ②事業者等からの連携事業提案 ③市による連携事業提案 ④提案結果のフィードバック

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	0	0	0		
	事業費合計	千円	0	0	0	0		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
連携協定を締結する団体数(累計)	団体数	実績値が目標値以上となること	目標値	4	5	5	6	9
			実績値	5	6			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	<ul style="list-style-type: none"> 包括連携協定締結の有効期限は3年間のため、市民ニーズや社会的需要について変化があった場合、成果を振り返り継続を判断する
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校との連携によりボランティア活動や探求授業等において社会貢献を図れた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに沿った事業展開のため、特に変化はなし。(各課への照会回答により時間の増減あり)

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	包括連携により個別の分野に限定せず、多岐にわたる分野において「包括的」取組が進められた。
--------	----	-------------------------	--